

今注目の楽譜&音楽書籍

できる!たのしい!
はじめてのがくてんワーク 上・下

音楽之友社
各1,210円(税込)
永瀬礼佳 著



『ムジカノーヴァ』で
大人気連載だった「あやか先生の楽典ドリル」が、
待望のワークとなって登場! 導入期の段階から楽典
を積極的に取り入れることで、楽譜から作曲家の意
図を読み解き、どうしたら聴く人に伝わる演奏がで
きるのか、どのように表現をしたらいいのかを自分
で考えられるようになります。

リズムトレーニングカード 1・2

ぴあののアトリエメソッド
これでふよみに強くなる!

共同音楽出版社
各1,100円(税込)
山本英子 著



「ふよみトレーニングカード1,2」の姉妹編で、リズム
力を身に付けるための教材。

虹とスキップ こどものためのピアノ曲集

カワイ出版
2,090円(税込) 高橋由紀 著

可愛らしい小品やスキップしたくなる様な
楽しい作品を交えながら、少しずつ音楽的な要素が
加わり少し大人っぽい作品まで発展していく。



フランツ・リスト 深音の伝道師

アルテスパブリッシング
三宮麻由子 著
1,980円(税込)



『ラ・カンパネッラ』『愛の夢』『ハンガリー狂詩曲』…
幼くして視力を喪い、ピアノを友として成長してきた
著者が、長年のレッスンを通じて探り当てた1曲1曲
の魅力の源泉とは——。いまピアノを学ぶ子どもた
ち、教える先生たちに届けたい心の栄養。

Piano Lesson 88 編集部

楽器・楽譜の総合卸商社 株式会社プリマ楽器
〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-8 Tel.03-3866-2221(担当:笹沼)

バックナンバーをプリマ楽器ウェブサイトでご覧いただけます!

閲覧・ダウンロードはこちらから

プリマ楽器 検索

<https://www.prima-gakki.co.jp/news88/>



作曲家のキモチ

File.1



こんにちは!作曲家の轟千尋です。

今号から新コラムを書かさせていただくことになり
ました。音楽にまつわるちょっとした疑問やトピッ
クスについて、作曲家、演奏家、指導者、さまざま
な立場から、と一緒に考え合う場にしていけたら
と思っています。

早速ですが、みなさんは作曲家がどうやって曲を
書いているのかと気になったことってありません
か?

「空からメロディが降ってくる」「音が湯水の如く
湧いてくる」……そんな神がかったイメージがある
かもしれません。でも実際には、もがいて迷って落
ち込んで……私の場合は、いつもその繰り返しで
す。

ピアノを弾いて書く人もいれば、森や海へ行って
考えを巡らせる人もいます。私の場合は、オーケス
トラを書く時は、ピアノを使わず頭の中で想像して
書きますし、音楽の「起承転結」は、お風呂の中や
お酒を飲んでいるとき(!)に突然ひらめくことも
あります。

納得いくものがいつ完成するか、自分にも分から
ない……にも関わらず、締切は待ってくれないの
が私たちの業界の現実。徹夜して間に合わせる
人、交渉して締切を伸ばす人、締切日ぴったりに
書き上げる人など、仕事のスタイルはさまざま。ち
なみに私は、締切よりも2週間ほど前に書き上げ
て、担当者に相談する“ストイック”タイプ。信頼す
る人の意見を聞いた上で、納得いくまでブラッシ
ュアップしていきます(ああ、なんて真面目なんで
しょう!)。こういった作曲家の性格のちがいが、
実は音楽に表れているのかもしれない。

作曲家の立場から綴るこのコラムが、みなさまの
アイディアやヒントになりますよう、作曲家が楽譜
に込めていること、音楽理論の話、オススメの本
や作品などを少しずつご紹介してまいります。どう
ぞお楽しみに〜!



轟 千尋 プロフィール

作曲家。東京藝術大学卒、同大学
院修了。日本フィル、九州交響楽団
等のプロオーケストラなど数々の
一流演奏家に作品を演奏されて
いる。出版物多数。TikTokや
Instagram等での楽曲再生回数は
毎月2000万回以上。一般社団法人
全日本ピアノ指導者協会評議員。



第236号

動く指、響く音のための「ピアニストのルーティン」

ピアニストのルーティーン

～動く指、響く音のための～
究極の練習法シリーズ 7

ピアノメソッド
2,200円(税込)
黒河好子 著



ピアノがうまく弾ける為には『テクニックを持っている』
『音楽性がある』ことが必要になります。作曲家の意図
や、どの様に弾くかはまた違う問題になります。
テクニックには『弾けるテクニック』と『音色や音質』が
あります。

ピアノは体の色々な筋力と関節によりテクニックが完成さ
れますが、最初に指のトレーニングが大切です。

ピアノは最初から大人の楽器で弾き、つい無理をして弾
き手を痛めることもありますがこの楽譜は指の機能を考
え、これだけは最低限守る練習を楽譜にしました。

指を『1の指と5の指』と『2の指と3の指と4の指』に分
けて練習していきます。

特に1の指は動く方向が違うために出来るだけ早い時期
に何種類かの動きを覚えなくてははいけません。また5の
指も短いために最初の段階で1の指から5の指を一度に
弾いてしまっては音の粒を揃えたり、テンポのコントロ
ールは難しく、耳の良い子でも本来音楽のために使うはず
のからだを使ったりしてしまい将来なかなか思う様に弾け
なくなってしまう。

またピアノは黒鍵と白鍵の高さが違うためにただ弾いて
は正確なテンポで弾けません。この楽譜では黒鍵と白鍵
の全ての高さの組み合わせで練習できる様になっています。
これはピアノを習い始めた方にも使えます。

これが出来てから『1の指と5の指』のトレーニングに入
ることで手のフォームも決まります。『1の指と5の指』は
重要な役割があり、この筋力をつけることで難しいとさ
れている三度奏法なども楽に弾ける様になります。

Piano Lesson 88



また筋力はすぐにつくものではないので毎日 10 分くらい
やっていくことで効果が出てきます。この楽譜は音の響
きも変えることのできる筋力もトレーニングできます。
また速く弾ける対称的練習法も易しくアレンジして書かれ
ています。

ピアノの鍵盤の高さが違うのでそれを無意識に脳に覚え
込ませる為に左右対称に動く練習の必要があると言うの
が対称的練習法でポリリーニやアムランなどが練習したと
いわれています。しかし左右対称に完全にすると不協和
音になってしまいます。

指の横のポジションは同じ間隔になりませんが黒鍵と白
鍵を同じにする事で音を揃えていく練習にアレンジしてい
ます。

これで無意識にコントロールされる様になり、はやく正確
に動く様になります。

今回の楽譜には他の重要なトレーニングや対称法的練
習の一部も載せています。

またこの楽譜は指を少し伸ばしたパネを使うタッチも学べ
る様になっています。

詳しくは文章では書かれていませんがオンラインセミナー
など開いていく予定ですので是非知って活用していただ
きたいと思います。

黒河好子 プロフィール

桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻卒業。日
本フィルハーモニー管弦楽団、札幌交響楽団
など多くの交響楽団と共演。また全国各地で
リサイタルなど演奏活動を行い、1993年札幌
市民文化奨励賞受賞。現在年間170回にも及
ぶ講座やプライベートレッスンなどを全国各
地で行う。黒河メソッド研究会を全国約20カ
所以上で発足させ、後進の指導にあたる。
KMIS(黒河メソッド集中講座)も各地で開催。
合同会社ピアノメソッド代表。





フンメル博士からの助言



【シリーズ2】ピアノ・ピアニスト・ピアノ音楽 第39回

読者の皆様こんにちは。レッスンや練習は順調でしょうか？今月は、ロマン派直前に登場したピアニストの最後を飾るモシェレスをご紹介致します。人柄やピアノ奏法において現代でも大切にしなければならないことが満載です、どうぞお楽しみに。 岳本恭治

■イグナツ・モシェレス

Ignaz Moscheles

1794年 - 1870年（現チェコ・ドイツ）

*初期のモシェレス

紳士、優雅、感受性豊か、高貴な人柄で知られたモシェレスは、まず最初にクレメンティの奏法を受け継いだ華麗なピアニストと知られていました。

①手首や腕を静かにして、指の動きを中心にしたテクニック

②かなり限られた部分だけのペダルの使用。

③連打を得意とした。（連打を取り入れた最初のピアニストと言っても言い過ぎではありません！）当時開発されたエラル社のダブルエスケープメントアクション（グランド・ピアノにおいて打鍵後鍵盤を完全に元の位置に戻さずに、同音を連打できるシステム）を利用しました。

④跳躍の正確さ

⑤和音を素早く演奏することができる。

以上の要素で、聴衆を魅了しました。

*晩年のモシェレス

30歳から40歳に絶頂期を向かえましたが、それ以降は物事を深く考えすぎ頑固になり、人気が無くなってしまいました。その原因は、モシェレスが若いときに習ったディオニス・ウェーバー先生（ボヘミア《現チェコ》）の作曲家、教師）のテクニックがいわゆる「古い弾き方」だったからです。ここで注意しなければならないのは、「古い弾き方」が悪いということではありません。古典派では、古典派の楽器にふさわしい演奏法が使われました。ここで問題なのは、ピアノという楽器がロマン派にかけてかなり改良され、音域が増え音量が増すにつれてハンマーが大きくなり鍵盤が重くなったということです。この連載でも触れてきたように、それ以前のピアノ

では、指を中心とした奏法で、近代奏法の「腕の重さを乗せる」方法がむしろ向いていませんでした。ハンマーが大きくなり、鍵盤が重くなったからの弾き方は、ショパンやリストが近代奏法として開発していきました。モシェレスは、この点に注目して晩年になってからショパンやリストを研究し、新しいテクニックを身に付ける努力を惜しみませんでした。このことにより、モシェレスは尊敬されました。

*謙虚なモシェレス

1838年頃、モシェレスはこのように語っています。（要約して掲載します。）

「私は現代において人気のあるタールベルク、ショパン、ヘンゼルト、リストの新しい作品を弾きます。これらの曲では、沢山の音を掴み、指を広げることが必要です。この4人はそれを行うことができますが、私はあまり多くの音を掴むことができません。ベートーヴェンを尊敬していますが、モーツァルト、クラマーやフンメルを最も好んでいます。彼らの高貴な曲を崇拜しています。現代では新しいスタイルが好まれますが、伝統を忘れることなく、この2つの流派の間のピアニストとして努力していきたいと思っています。

では、また来月号でお会いしましょう。



岳本 恭治

（日本J.N.フンメル協会 会長）

岳本 恭治 Kyoji Takemoto

武蔵野音楽大学音楽学部ピアノ科及び国立音楽院ピアノ調律科卒業。ロンドン・トリニティカレッジグレード・ディプロマ取得。演奏活動と共にピアノ構造学・改良史・奏法史の研究者としてレクチャー、コンサートを国内外で行う。ムジカノーヴァ誌等に執筆。スロヴァキア国際フンメル協会より「フンメル賞」を受賞。著書「ピアノ・脱力奏法ガイドブック vol.1〜3」(サーベル社)、「江戸でピアノを」(未知谷社)、「リフレッシュ・ピアノ・メソッド」(春秋社)等多数。現在、国立音楽院指導講師、日本J.N.フンメル協会会長、スロヴァキア国際フンメル協会名誉会員、全日本ピアノ指導者協会(PNTA)正会員。

岳本先生ホームページ: <http://hummel1778.com/>



ピアノレッスンの今後



♪♪ Music Key Lesson ♪♪ 岩瀬洋子・田村智子

生徒たちと長く付き合っていると、「おや?変わった?」と思うことがあります。いつも不安げで、うじうじ…こちらはじっと待っている…そんな生徒がある日、「あれ?この子、こんなにはきはきしてたあ〜?」気づけば、レッスンでも前向きに自分の意見を言うようになってきました。聞けば、学校でもクラス委員に選ばれた…など、生徒の大変身に驚かされるのがしばしばあります。

小6になった M ちゃんは、今まさに変身中!いつもしっかり者のお兄ちゃんの後ろにくっついて、同じことをやろうと…ピアノはもちろん、小1のときには男の子に交じて野球チームにも入りました。ただ積極的なお兄ちゃんとは違って、なかなか自分の気持ちを外には出せず、きつと悔しい思いもあったと思います。ピアノでも思うように弾けないと、すねたり、投げやりな態度になったり、その時の感情をそのままぶつけてくることもありました。そんな時は、できるだけ楽しく進めようと、タイムを計ったり、ジャンケンで回数を決めて弾かせたり、短時間で集中させようとあれこれ悩みながらレッスンを進める事が多くありました。

そんな M ちゃんに転機が訪れたのは、2つ年上の兄が中学に入学した時です。Mちゃんは5年生。必然的に一人で学校へ、自分で考え行動することが増えたのです。丁度そのころから背も体も大きくなってきました。そして6年生になった今、M ちゃんの顔つきはしやきつとしてきたように感じます。

先日のレッスンの時です。「先生〜私ね、高校行ってもピアノは続けたい!」…と。M ちゃんが自分の考えをはっきり伝えてきたことに驚きました。半年後には中学生。Mちゃんは外見だけでなく内面的にも今成長真ただ中です。「自分はこう思う!こうしたい!」が芽生えてきました。レッスン前に「先生、今日は少しだけ弾いてきた。ここの所は弾けるようになったよ。こっちはできなかった。」「OK〜そしたら練習してきたところをまず聞かぬ。次に練習できなかったところと一緒にやってみようか。」「うん。」お互いが自分の思いを素直に話せることで、ストレスがなく、楽しくレッスンできているように感じます。6年生の今でも野球は続けています。毎週休日には試合があり、レギュラーとして大活躍。週4日ほど、野球に燃えています。

ピアノの練習時間は取りづらいようですが、何とか短い時間でも練習しなければ…そんな意識もあるようです。何よりありがたいのは、お母様は何も言わず、わが子をレッスンに送り出して下さっていることです。ご両親の思いをこちらもしっかり受け止めながら、M ちゃんの「ピアノを続けたい」という思いを応援していこうと…更なる M ちゃんの「大変身!」を期待しながら…教師も変身せねば!と、焦る今日この頃…。



【岩瀬洋子によるピアノ導入指導講座】

10:30-12:30（録画受講可）表参道カワイ：パウゼにて

《リズム・ソルフェージュ編》

①9/16(金)「体験型リズム指導!感じるリズムは演奏に即効果あり!」

②10/28(金)「ソルフェージュ?!何からどう進める?まずは先生が体験!」

《テクニック編》

①12/7(水)「楽譜が読めない初心者でもすぐに弾けるテクニック!」

②1/18(水)「“スケール・アルペジオ・ハノン”を大解剖!」

《実践編》

3/8(水)「あの名曲が弾ける!楽しくチャレンジできる声掛け!」

♪ミュージックキーお問合せは musickeynagaizumi@gmail.com

アマネコ舎のカレンダーが2023年版で最後の刊行となります!!

「音楽を奏でるネコたち」
雨田光弘傑作選
ミュージック・カレンダー 2023

サイズ:縦 515×横 182mm

特製ポストカード付

365日すべてに音楽家の誕生日入り

アマネコ舎

1,738円(税込)

12年間の集大成!

限定数発売!

絵: 雨田光弘



<あまねこの四季>

カレンダー 2023

雨田光弘傑作選

サイズ:縦 300×横 300mm

月の満ち欠けマーク入り

アマネコ舎

2,222円(税込)

33年間愛されている

大ロングセラー